

# つかむ

現状を把握し、共通の課題を  
明らかにする教師の関わり

## (2) 指導のポイント

# 子ども

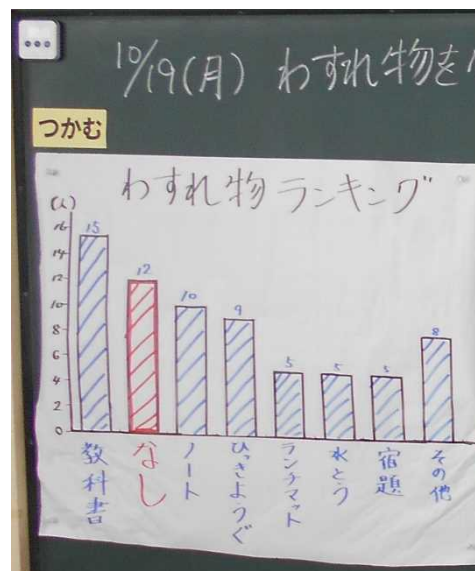
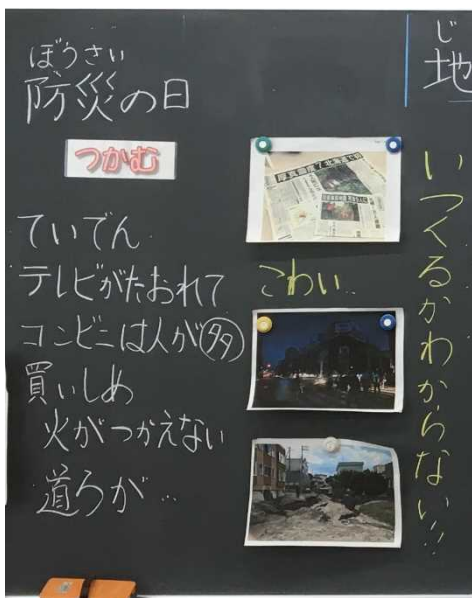
- ・教師は事前アンケートを整理して視覚的なギャップを生む工夫をする。
- ・本時の課題となる日常の姿を動画や写真で残しておき、見せる。
- ・道徳で行った授業の板書を TV に映し、大切にしたいことを強調させることもできる。
- ・ある程度、現状がつかめたら「このままでよいか」を問いかける。
- ・現状がつかめたら、「学級目標に向かえる学級か」を問いかける。
- ・想像していた自分たちの姿と現実の差に着目させ、課題を共有する。
- ・後半に時間を掛けるためにも、5分程度でつかむのが理想。

え？

そうだよ

そんな気が  
していた

どうしよう



これから起こる近い将来のことを  
想像できるようにする教師の関わり

# の思考

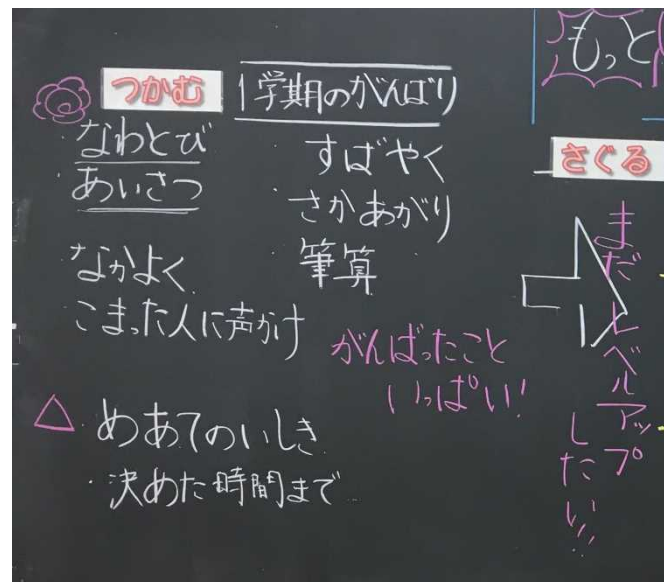
## (3) 指導のポイント

- ・教師は事前アンケートを整理して視覚的なギャップを生む工夫をする。
- ・ある程度、現状がつかめたら「このままでよいか」を問いかける。

やっぱり

自分も  
そうだよな

このままで  
はよくない



# さぐる

課題の原因を明らかにしたり、解決の必要性をはっきりさせたりしながら、解決への糸口をさぐる教師の関わり

## (2) 指導のポイント

# 子ども

- ・見つけるの意見を出しやすくするために、教師は、分類整理しながら板書します。
- ・現実に対して原因を明らかにすることを、丁寧に行うことで、どの子ども自分ごととして問題意識をもてるようにします。
- ・子ども達は、経験したことを語れるので、(3)と比べると時間がかかる可能性があります。
- ・場面を限定して考えさせることで、具体的な様子を思い浮かべられるようになることもあります。

原因は何だろう

どうしてこうなっちゃうの

このままだったら

そうか、○○すれば

よく考えたら

### さぐる

学校にいくと中

近くの川のいえ

あたまをまじる

外ならあんぜん?

公えんのような広いところ

図書室なら

本

あたまをまじる

→ほうそうをきく

なりたい自分像を明らかにしていく  
教師の関わり

# の思考

## (3) 指導のポイント

そんなこと  
考えていたんだ

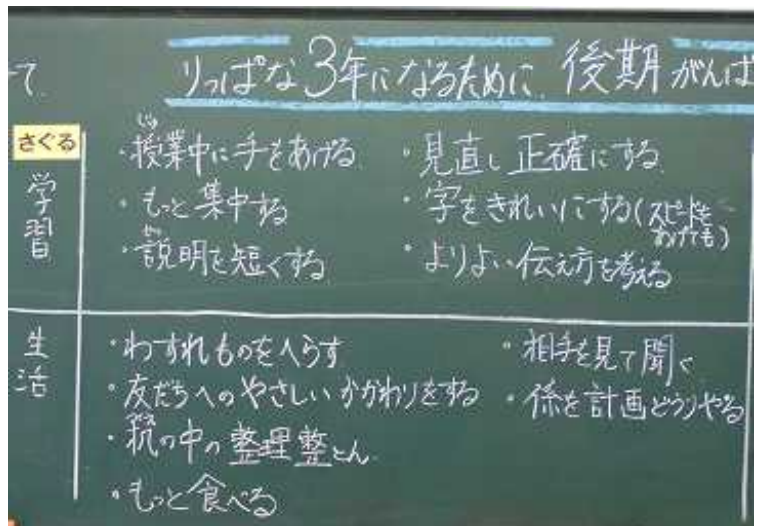
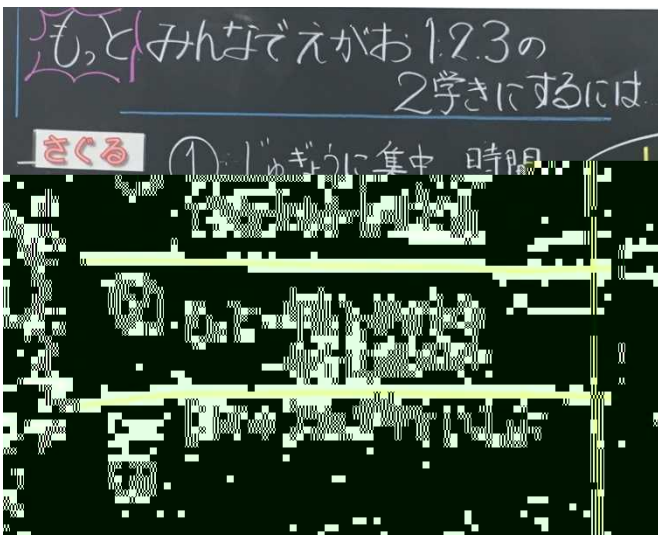
そうした  
かったんだ

そうなんだ

自分  
だったら

これだったら  
自分も

- ・理想像を描ける人物を考え、インタビューを取っておきます。
  - ・教師は上の学年や、先生方、専門家へのインタビューをまとめた資料を提示します。
  - ・これまでの子どもの頑張りを思い出させることもあります。
  - ・イメージマップなど、思考ツールを使って一人一人が整理することができます。
  - ・(2)と比べると、教師が与えた情報を元に考えることが多いため、時間は短くなる可能性があります。
- ※理想と比べて、できてない自分に焦点が当たると(2)ぽくなり、時間がかかります。



## 見つける

さぐるの子どもの思考が異なるので、見つけるでも（２）（３）で教師の関わり方が少し変わります。

子どもの思考	学級活動（２） 具体的な解決方法を考えさせる教師の関わり
「この原因にはこんな方法が」 「これをすれば」 「こんなこともできるのでは」 「得意なあの人にはどんなことを」 「先生だったらどんな方法がある？」	• 学級全体で話し合います。 • ペア交流やグループで意見を考えをまとめさせることもできます。 (ココを増やしたい)

子どもの思考	学級活動（３） なりたい自分像に近づくためにできそうなことを考えさせる教師の関わり
「自分はこんなことやってるよ」 「こんなこともできるのでは」 「どんなことできるかな」 「先生だったらどんな方法がある？」	今後の予定を伝えることで、場面を限定して考えられるようにすることもあります。

きめる

きめるは、(2)(3)で共通した関わりがほとんどです。

子どもの思考	学級活動(2) 自分の課題にあった具体的な解決策 を決めさせる教師の関わり	学級活動(3) 自分のなりたい姿に向かって、今でき ることを決めさせる教師の関わり
「何に決めようかな」 「自分に合っているの は」 「自分にできそうな は」 「これにしようかな」 「これなら頑張れそう だ」 「こんなこともできそう だ」	<ul style="list-style-type: none"><li>• 1人1人、具体的な意思決定ができるように</li><li>• (2) だったら、1週間後に振り返られるように。</li><li>• (3) だったら、2週間1か月後に振り返られるように</li><li>• 振り返りカードや、キャリア・パスポートに記入することで</li></ul>	